

令和5年度第3回飛騨圏域地域医療構想等調整会議 委員意見

- 議題
 - 1 公立病院経営強化プランに係る意見聴取について

○ 意見等及び回答

病院名	意見等	回答
金山病院	持続可能な地域医療提供体制を確保するための「経営強化プラン」であることが重要です。協議のあった案件について、令和3～4年度の損益計算書や入院、外来の診療実績、コロナ禍という社会背景など考慮すると令和9年度の経営指標にかかる数値目標は相当無理があり、今年度見込み以降の収支計画も机上の空論になってしまいかねず、最後の一行に「速やかに抜本的な見直しを含めた経営強化プランの改定を行います。」と記述するも、その具体的な見直しを軌道に乗せていく時期にあると思います。	【金山病院】 計画初期の目標は、決して空論となるような高い目標ではなく、その先の体制を整備するための人材確保に重点を置いています。また、長期的には抜本的な見直しの初期段階と位置付けており、持続可能な地域医療体制を確保するよう努めて参ります。
金山病院	詳細な公立病院経営強化プランを作成して頂き、ありがとうございます。貴病院が大切な病院であることは県内の医療従事者や地域の方々はよくご存じかと思えます。その上で、「病床数維持」や「医療機関との連携」という計画ではなく、少子高齢化社会の進行に伴って、どこに力を入れていくのか？そのために、何をどう連携していくのか？役割分担はどうするのか？そのときに、何が足りず、どういった課題があるのか？という議論が求められているのだと思います。十分な予算も人員もなく、全てのことを拡充するのは難しい状況だと思われます。しかし、地域にとってなくてはならない存在だと思いますので、どこを重点的に拡充または連携するのかがわかる形になると良いように思われました。引き続き、そういった観点からの見直しや準備をお願い出来れば幸いです。よろしく願いいたします。	【金山病院】 少子高齢化、特に高齢化の人口推移に着目し（令和7年までは増加、12年までは横ばい）、本計画においては病床機能の転換を図りつつ、病床を維持するものとししました。また、役割分担や連携強化、重点項目の絞り込みも、下呂温泉病院様をはじめとする地域の医療・福祉・介護事業所および救急隊の皆様と十分な協議を行いながら、必要に応じて、期間中のプラン改定も考慮し、進めて参ります。
金山病院	下呂温泉病院との連携をさらに強化し、下呂市の医療を支えていただく事をお願いします。	【金山病院】 引き続き、下呂温泉病院様とは十分な協議のもと、市、県にもご協力いただきながら、連携の強化、分野の拡大に努めて参ります。 これまでも、下呂温泉病院様の急な人材不足に対して当院の外科医に赴任していただき、当院で研修されていた医師が下呂温泉病院様に赴任されご活躍されているなどの実績があります。また、整形外科分野では当院に術者を派遣いただいております。現在病院間での画像共有の取組も検討しており、これが実現すればさらに連携が強化できるものと期待しております。
金山病院	・下呂市立金山病院は、同市に下呂温泉病院があることより、経営強化プランを進めるにあたり、単独施設で臨むべきではないと思います。 ・県立下呂温泉病院をはじめとする近隣病院との病病連携の強化を通じて、紹介率・逆紹介率の維持・向上をはかるとありますが、より求められることは、役割分担だと思います。 ・具体的には、両病院に同じ診療科があるならば、その診療科で同じような診療をしていると考えられるので、その診療科をどちらかに統合することが、真の役割分担だと思います。 ・また、病床機能においても、両病院とも急性期病床を有していますが、効率化の観点からも、治療成績向上の観点からも、急性期病棟はどちらかに統合するのが望ましいと思います。一方、回復期・慢性期は人口の高齢化から、多くの病床が必要なため、両病院が有する意義はあると思います。 ・自院の経営強化のみ考えるのであれば、わざわざ地域医療構想会議をやる意義はないと思います。	【金山病院】 役割分担や科の統合につきましては、下呂温泉病院様をはじめとする地域の医療・福祉・介護事業所および救急隊の皆様とも十分な協議を行いながら、地域の患者様の利便性にも配慮しつつ、協議を継続して参ります。 下呂市の面積は851.21km ² （岐阜市の4倍強）、人口は29,426人（岐阜市の14分の1）であり、91%が山林です。集落は旧4町1村に点在していて、平野部の市のような密集した市街地をもっていないことが実情です。高速道路もありません。 下呂温泉病院様とは道のりで30km離れており、しかもその間は雨量通行規制のある飛騨川の大渓谷で、中原地区を除いてほとんど人が住んでいません。また、救急車は金山地域には1台のみです。 このような状況下においては、機能分担のみならず、救急も含めて地域の総合診療を行う「地域分担」が重要で、専門性の高い疾患については下呂温泉病院様や他の専門施設と連携するという形が現実的かつ効率的で、各地区の住民の生命と生活を守ることに繋がります。重症疾患についてはドクターヘリが夜間悪天候時には利用できず、対象疾患の3分の1の利用にとどまっていることから、遠隔陸路搬送に耐えるための初期処置は絶対に必要で、普段から急性期も担っている施設として実際に生命を繋いでいるところです。 地域医療構想の大前提として「地域の実情を考慮する」ということがあります。ご理解を賜ればと考えます。
金山病院	夢のような収支計画があるが、県は本当に金を出してくれるのか？ 足りない分は、赤字の補填があるのか？黒字は夢か？	【金山病院】 収支計画における一般会計負担については市の財政部局と協議の上で、計画に反映しています。また、計画の推進には人材確保が必須となりますが、看護師等の偏在・人材不足は全国的な課題であり、前途多難です。よって、目標達成のために職員一丸となって取り組みますが、人材確保ができない場合は、病床の縮小も視野に入れ、計画期間中のプラン改定につきましても明記しているところであります。

病院名	意見等	回答
その他	<p>飛騨圏域地域医療構想等調整会議がスタートした時点で、南飛騨地域の医療連携については、飛騨圏域全体も含めて、もっと明確に県としての方向性が示されていたように思いますが、きちんとしたシミュレーションを県が住民へ示していけるようリーダーシップを発揮していただきたい。</p>	<p>【事務局】 適正で効率的な医療提供体制の確立に向け、各医療機関の自主的な取組を基本としながら、県としても必要な支援を行って参ります。</p>